

## 那須塩原駅周辺まちづくりビジョン有識者会議

### 那須塩原の強みと今後の可能性とは？

10月10日に東那須野公民館にて開催された「第1回那須塩原駅周辺まちづくりビジョン有識者会議」。渡辺市長のほか3人\*の有識者による意見交換が行われました。各委員と意見の内容を紹介いたします。  
\*委嘱された委員は4人。涌井委員は都合により欠席。



筑波大学名誉教授  
おはせれいじ  
**小場瀬 令二 氏**

他自治体におけるまちづくりや新庁舎建設に関する知識や経験が豊富であり、主にまちづくりの視点から有識者会議に参画。

那須塩原市はクリーンエネルギーを含めた自然の豊かさと開拓の歴史が魅力的です。一方で、環境にやさしいまちというのは日本全体で見ると当たり前になってしまうかもしれません。那須塩原でないと出せない良さを見つけ、いかに個性として打ち出すかが肝心です。小水力発電で生まれた環境に優しいエネルギーが画期的な農業や酪農に使用され、美味しいチーズやワインが作られる。そんなストーリーリズムが生まれると面白いと思います。



亜細亜大学都市創造学部長  
まつおか たけお  
**松岡 拓公雄 氏**

まちづくりや都市空間だけでなく、庁舎建設や景観審議などの知識や経験が豊富であり、主に建築の視点から有識者会議に参画。

那須塩原駅からの景色はやはり最大の魅力ですが、駐車場などが多く、少しまとまりがないと誰もが感じると思います。一方で、那須塩原市はぜひたくましく多様な資源を持っているのに、住んでいる人はなかなかそれに気付いていません。人を呼び込むためには、新たなモノを作るだけでなく、自分たちのまちを誇りに思えるような活動が生まれると良いのではないかと思います。自分たちのまちを誇りに思うことがなければ、まちは変わりません。



東京都市大学環境学部特別教授  
なぐい しろう  
**涌井 史郎 氏**

東京都市大学環境学部特別教授やなごや環境大学学長など、環境に関する知識や経験が豊富であり、環境の視点から有識者会議に参画。

世界的にはSDGsなど環境重視の動きがあり、新たなテクノロジーの流れも無視できません。もともと人間はアナログな存在であり、自然とテクノロジーの掛け合わせが肝心です。シリコンバレーのように、豊かな自然を背景とした食や農につながる環境が、産業立地に最適との見方も多くあります。那須塩原は自然に溢れており、自然的・文化的個性を維持しつつ、多様性と寛容性を兼ね備える「場」を重視した地域づくりが重要です。

\*上記は、事前に提供されたコメントの要約です。



宇都宮共和大学副学長  
やましま てつお  
**山島 哲夫 氏**

第2次那須塩原市総合計画の審議会の会長として、本市のまちづくりに貢献。有識者会議では総合的な視点で参画。

那須塩原駅是那須地域全体の交通の中心ですが、駅から降りたときに那須のイメージがありません。素晴らしい景観が目前にありますから、那須の非常に良いイメージを那須塩原駅周辺に凝縮できれば良いと思います。まちづくりは、どのような施設を作るかよりも、誰をターゲットにし、どうイメージさせるかが重要。軽井沢は良好な別荘地を感じさせます。那須も地元の資源を使ってイメージを作り上げていかなければなりません。



## まちづくり**将来像**の策定がスタート

栃木県北の玄関口・那須塩原駅。地域交通の結節点であり、那須地域の中心的な位置づけを担っています。新庁舎建設を含めたまちづくりを進めるに当たって、駅周辺の魅力を高めるためのビジョンの方向性について、議論が始まりました。▶問い合わせ 企画政策課 ☎0287(62)9254

方向性を定め、  
持続可能な地域を  
実現したい——



市長 渡辺 美知太郎

**全**国の自治体で課題となっている人口減少。本市の人口減少は、県北の他の地域に比べると穏やかですが、将来を見据えた対策が求められます。人口減少に歯止めをかけるため、周辺の自治体と連携を図りながら、さまざまな場面で本市がリーダーシップを発揮していかなければなりません。

天皇陛下をはじめ皇族の皆さまにもご利用いただいております。明治31年の開業から120年以上の歴史がある那須塩原駅。同時に、那須地域の中心的な位置づけであり、地域のシンボルでもあります。より多くの人に愛される場所となるよう、県北の玄関口としてふさわしい那須塩原駅周辺のまちづくりを進めることが必要です。

進めるに当たっては、駅周辺の魅力を高めるためのビジョンが必要だと考えています。地域の外からの視点では駅前はどうのように見えるのか。民間活力を導入するにはどうすればよいか。外部有識者会議を立ち上げ、駅周辺のまちづくりの方向性の議論を始めました。私も委員の一人として参加し、駅周辺の発展、さらには、持続可能な地域社会の実現を目指したいと考えています。

この有識者会議でまちづくりの方向性を示した後は、市民にも加わっていただけて検討を重ね、那須塩原駅周辺まちづくりビジョンとしてまとめる予定です。将来の人口減少にしっかりと歯止めをかけ、県北の玄関口としてふさわしい駅周辺となるよう、議論を深めていきます。